

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	池田 晶
研究テーマ	近世日吉社の祭礼の変容と再構築
研究概要	近江国滋賀郡坂本に鎮座する日吉社の代表的な神事である日吉神事能・日吉山王祭りが、近世期どのように変容し、それに対応するため延暦寺と日吉社が祭礼をどのように再構築したかを総合的に研究する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>近世日吉社のうち、日吉社神事能の実態を把握することを目的として、日吉社の社家生源寺家伝来の私用日記全 62 冊（明和 5 年～明治 4 年の 97 年分）を調査し、日吉社神事能の番組を抽出した。従来、近世の日吉社神事能は、近世前期の能番組は報告されてきたが、近世後期の実態は未詳であった。2020 年度の研究活動により従来未解明であった近世後期の能番組を明らかにすることができた。</p> <p>また、この研究活動により、日吉社神事能の能番組だけではなくそれぞれの演目を演じた能役者も明らかにすることができた。この過程で近世後期には京都の片山九郎右衛門家が演能を独占していると考えられてきたが、異なる事例も確認することができた。</p>
2. 今後の課題	<p>2020 年度の研究活動で、日吉社神事能の近世を通しての番組に関しては解明することができた。</p> <p>今後の課題としては、2020 年度までの研究を踏まえて、①この能番組が上演される能舞台の設営の経費負担・設営の命令系統と執行者、②演能時の警固の担い手、③日吉社の鎮座地である上下坂本の居住者を含めた観能者の実態解明などを課題としたい。③の観能者については、日吉社神事能が明治維期の再途絶をし、再復興することができた民俗信仰的な力の淵源であると考えており、特に課題として取り組んでいきたい。</p>